

## 世田谷ケアマネジャー連絡会 役員議事録

日時	令和4年3月22日(火) 19:00 ~ 21:30
開催場所	Zoom
出席者	相川・渡部・一宮・新居・川上・横田・花尾・斉藤・佐藤 玉川保健福祉課：窪田係長・世田谷区介護保険課事業者支援担当：石井係長 【欠席】森川・安藤 (敬称略、順不同)

### 1. 個別避難計画について

#### ■ 個別避難計画

- ・ 個別避難計画の作成について、世田谷区としては、作成に対してケアマネに何らかの協力をしてもらいたいと思っているとのこと説明があった。
- ・ そもそもケアマネは利用者を包括的にみるので、当然避難計画にも携わる必要があるのではないかと。
- ・ インセンティブをつける形になるか。インセンティブになるとしても、ケアマネは様々な側面でサポートしている。現行の居宅サービス計画書に加えて避難計画も作成するとなるとかなり大変。
- ・ あくまでも利用者が自ら作成するのが基本なので、それほど複雑な内容ではない。現時点では、作成に向けての声かけは少なくともして欲しいと思っている。
- ・ 利用者自ら作成するのが基本なのであれば、認知症の一人暮らしなどの方に対して何らかな支援は必要なのではないかと。

### 2. この間出席した会議について

#### ■ 3/1(火) 地域包括支援センター運営協議会オンラインにて佐藤参加

- ・ あんすこの評価が始まる。
- ・ 介護補棒日常生活支援総合事業の対象者の弾力化について、ある条件下であれば地域ケアプランもケアマネが作成する場合がある。
- ・ まちづくりセンターの機能も新たな条例策定により強化される。
- ・ ひきこもり相談窓口が4月から開設される。
- ・ 身元保証人が立てられない方の入院入所に関するPT作業部会の進捗状況

### 3. 総会について

- ・ 来年度はいつのタイミングでどのような方法で行うか。
- ・ Zoomで行うでよいのでは。
- ・ 書面とのハイブリットでよいのではないかと。
- ・ 決議は反対の人だけ挙手してもらうのがよいのではないかと。
- ・ 決議は書面のみにするのが良いのではないかと。
- ・ Zoomに参加できない方にも配慮する必要があるのではないかと。そう考えると、書面開

催を基本とし、補助的に Zoom で説明、質疑応答の対応をするのが良いのではないか。

- ・ Zoom を活用したいところだが、Zoom 開催にすると、会費の集まりがあまり良くなかった。
- ・ そもそも会費をどう集めるが課題では？ コンビニで支払えるようにしできないだろうか。
- ・ そもそも職能団体なので、研修という形でしか会費が集められないことを考なければならぬのでは。

⇒総会は 6 月末を目指す。報告書は 4/18 までに仮作成すること。

⇒総会をどのような媒体で行うかは検案事項とする。

#### 4. 主任部会

- ・ 現在のコロナ状況を考えると、予定していたシンポジウムは難しい。地域包括ケアシステムの中での主任ケアマネの役割について考える研修を改めて行う予定。
- ・ 研修センターの瓜生氏、世田谷区社協の金安氏に講師をお願いする予定。
- ・ 世田谷区としての講師料の基準は 1 時間 1 万円くらい。そこを参考にすると、各々 1 万円程度か。

#### 5. 施設部会

- ・ 久しぶりに Zoom を用いて部会を開催した。協力会員を増やし、施設ガイドブックを作成する方向を共有した。

#### 6. 世田谷区から

- ・ ケアマネジメントの基本方針について、意見をもらいながら完成した。3/31 に区のホームページで公表する。
- ・ 総合事業の弾力化について、3/25 のファックス情報便にて共有。
- ・ 高齢者のワクチン接種が難しい方について連絡をもらうことになっていた。5 名いらっしやっていたうちの 3 名は自宅に訪問してワクチン接種することになった。
- ・ 役員会の会場について、第 4 火曜日の夜うめとびあの会場を抑えてある。